



令和4年6月25日（土）に開催しました「第20回 運動遊びプレイラー研修会」の様子をレポートします！  
講師は、中村和彦先生と眞砂野裕先生です！

**講師：中村 和彦 先生**  
(国立大学法人山梨大学 理事・副学長)  
YBS山梨放送「ゴリラパンダ」ダンス  
NHK 2020応援ソング「パプリカ」ダンスなどを監修

**講師：眞砂野 裕 先生**  
(東京都昭島市立光華小学校 校長)  
日本トップリーグ連携機構 JTLプレイラー  
ミズノ株式会社 プレイラーマスター

## 講義



山梨大学理事・副学長の中村和彦先生からは、

子育て・教育において大切にしないといけないこととして、  
・3つの発達側面（認知的・情緒や社会性・身体運動）はお互い関係し、補い合いながらその能力を育ていく「相互補完性」という特性をもっている。  
・小さい頃に「おもしろい」「心地よい」「自ら」やったという経験があると、成人期以降も生涯を通じて学び続けようとする傾向があるため、持ち越し効果を視野に入れた子育て・教育が必要である。

などのお話をいただきました。

## 実技【テーマ：ごっこ遊びをしよう】

■「ごっこ」遊びは、「用具」を使わなくても、子どもにとって非常にのめりこみやすいのが特徴。パターン化して楽しむことが重要です。



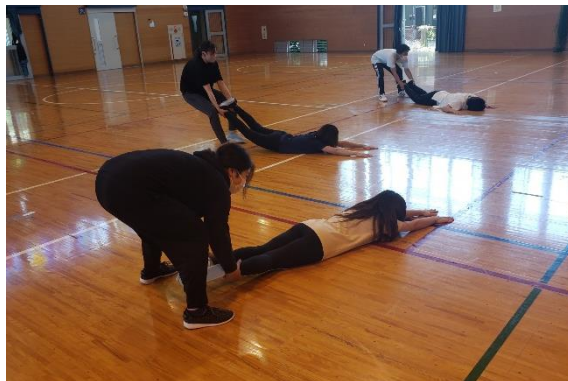
■「くまさん」になって、手と足を使い地面を思い切りたたきましょう。肩口に力を入れる動きがマット運動の動作につながります。



■「うさぎさん」になって、手をあげたまま動いてみます。手から地面に着地する動きがマット運動の動作につながります。



■「忍者の国」ゲーム。お宝の近くには刀を持った見張りがいいます。気づかれないように、静かにハイハイで近づきます。



■「キャンプに行こう！」ゲーム。大きなマグロがつかまりました。マグロ役は引っ張られないように、全身に力を入れて、地面に這いつくばります。